

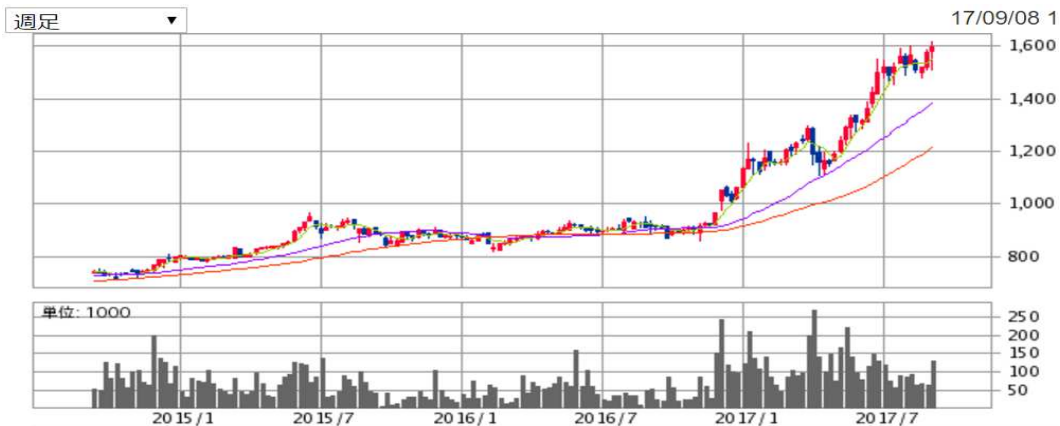
平成29年9月10日

・シェアリング経済

北朝鮮がミサイルを発射して日本に被害が及ぶかもしれないということで日本株はマザーズを中心に調整しています。陸地に命中したら流石に暴落でしょうが、それ以外のシナリオは米国の圧倒的勝利をもって終結するのでトランプ大統領が「世界平和を守るために我々は戦わなければならない。我が国だけではない。平和を守るためなのだ」とツイッターで発言したらもう開戦間近ですね。

米国はイエレン議長のゆっくりとした利上げペースにより長期金利は上がるどころか2.1%までじり下げし、日米金利差が縮小。円高ドル安傾向がじりじり続いています。この結果、日経平均株価からは資金が抜け、逆に円高の恩恵を受けて値動きが軽い、ジャスダック平均に資金が向かっています。今年のこの指数のパフォーマンスは22%となっています。

私の持ち株である中央自動車工業8117を例にとると、米国向けの高級自家用車のボデーへのコーティング剤の塗布により業績は好調です。株価は年初の1065円→1595円と約50%高となっています



現在、会社四季報では予想PER 12倍。しかし、配当利回りは低下し2.2%台とかつての3.5%では無くなってしまいました。株価急騰に配当が追い付いていない状態です。中間決算発表で通期見通しが変わるでしょうが、ピッチが速いです。

小型株が意外な高値で終わる年は12月高値が多いです。来年の1月小型株効果（年末年始の休暇を警戒して12月に外した買い玉を新年度相場入りして買い戻すアノマリー）やこの銘柄の3段上げ期待（900円～1300円で1段上げ、1150円～1580円で2段上げ、1580円～移行が3段上げ）で注目しています。

以下のような増額修正がありました。